

第4章

北米拠点：ノースカロライナ研修

三小田 博 昭

(1) 目的

「課題探究Ⅱ」における6つの課題研究領域のうち、人権と共生〔生存・差別・障がい〕／平和〔紛争・民族・国際理解〕／文化〔言語・芸術・表現〕で課題研究を行っている生徒を対象として行う。選抜された生徒は、多様な文化・価値観をもつ米国を将来の日本の姿と重ね合わせ、課題研究に関するフィールド調査を現地の高校生と協同で行う。学校内で行っている研究活動を世界の中で捉え俯瞰的に思考を巡らすことができ、新たな視点から課題研究を深めることを目的として実施する。

(2) 内容

「Melting Potアメリカから多文化共生を探る」というテーマのもとで、米国East Chapel Hill High School, Chapel Hill High Schoolの生徒と協同で課題研究を行う。研究成果の発表を通して、米国の大学教授、教育委員、企業の方から指導と助言をいただく。フィールドワーク先として米国を選定した理由は以下のようなものである。グローバル化が急速に進む日本での課題は、多文化共生である。グローバル化の伸展とともに、さまざまな課題が生じる。その課題を解決するためには、課題が表出している米国を見るべきと考え、米国をフィールドワーク先とした。

(3) 事前学習

1) グローバル化した社会とはどのような社会であるかについてのディスカッション。

(グローバル化)・個人個人での関わり

- ・国境のないひとつの共通の土俵と捉え、共通のルールや価値観を共有、
- ・認識した上で関わっていくこと
- ・異なる価値観を持つ人々が共存できる社会 (←グローバル社会)

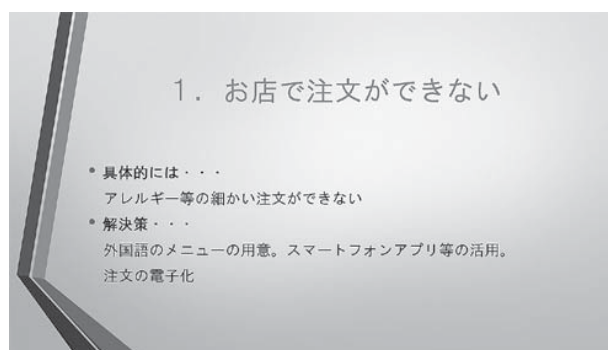
(国際化)・複数の国家が結びつきを強めている状態

2) グローバル化した日本社会で起こると予測される問題点についてのディスカッション。

予想される問題点として以下のものを取りあげその背景と対処法を考えた。

- ①衣食住の違いにより起きる問題
- ②～地域コミュニティ内でのトラブル～
- ③言葉の壁への対処法
- ④人種偏見によって起こる人種差別問題を取りあげた

各発表グループに生徒を分けて調べたことを共有しディスカッションを行った以下は、③言葉の壁への対処法で生徒が作成したスライドである。



2. 手続き上の不便

- 具体的には・・・
役所・図書館等での複雑な手続きが行えない。理解できない。
- 解決策・・・
英語等多言語でのマニュアルの準備。
手続きを簡単にする。一日本人にも難しい。

3. 病院で病状を伝えられない

- 具体的には・・・
翻訳するアプリ等は気軽に使えない(精密機器等に影響する)
- 解決策・・・
遠隔での専門家(外国語話者)の診断

4. 詐欺に遭う

- 日本人が外国人をだますより、外国人が日本人をだます方が問題になっている。(結婚詐欺)
- 解決策・・・
気を付ける。(恋はどうしようもない...)

5. 情報が入らない

- 具体的には・・・
地域コミュニティの情報が入らず孤立
- 解決策・・・
積極的に話しかける。広い心を持つ。

6. 災害時の孤立

- 解決策・・・
災害時、多言語(英語・中国語・韓国語・タガログ語)での情報支援
(内閣府)
日頃からコミュニケーションをとり、災害時の意思疎通を容易にする。
スマートフォンアプリでの誘導(総務省)

7. 通報がうまくできない

- 解決策・・・
専用アプリの開発(GPS情報の利用・画面上で選択するだけで通報可能)

身近な問題の解決策まとめ

- 外国人対応専門の機関を設立
→外国人問題の一元管理。外国人の雇用の場にも。
- コミュニケーションを積極的にとる。
- アプリの開発。

3) 名古屋大学G30の学生とのディスカッション。

現在、名古屋大学G30International Program で文学部「アジアの中の日本文化プログラム」に在籍するノースカロライナ州出身の学生と「グローバル化した日本社会で起こると予測される問題点とその解決法について」ディスカッションを5回実施した。その学生は本校が北米拠点-ノースカロライナ研修で訪問する現地3校の中の1つであるChapel Hill High Schoolの出身であり、自身が高校生の時に、本校を訪問した経験がある学生である。

(1回目) ノースカロライナ州Chapel Hill に関する事前学習会



(2回目以降)「グローバル化した日本社会で起こると予測される問題点とその解決法について」

日本で生活している高校生が考えたアイデアや取組みに関して、実際にグローバル化社会米国で生活している



学生から率直な感想や質問を受けることにより、ディスカッションが深まる。コミュニケーション言語は英語を基本としながら、時に日本語を交え和気藹々としながらも真剣に思考を働かせる。



(4) 行 程

3月12日(土) 中部国際空港発 08:20 JL3082 —
成田国際空港 11:10 JL010 —
シカゴ発 15:10 AA168 — ロー
リー着 17:59

3月13日(日)～3月19日(土)
全日程ホームステイをしながらChapel
Hill の3つの高校に分れ協同研究

3月17日(木) 参加生徒全員がEast Chapel Hill High
Schoolに集結し研究成果を発表
現地の大学教員、中等教育関係者、企
業関係者から指導や助言を受ける

3月20日(日) ローリー発 06:30 — シカゴ発
13:40

3月21日(月) 成田着 18:30 — (JR) — 名古
屋駅着 22:00頃 保護者迎え

(5) 参加生徒の感想

1) 授業の時間割と授業内容・感想

(授業は毎日同じ時間割)

	科 目	内 容
1	数学 Honors Math 3pc	三角関数の授業 *習ったはずだけど、苦手なのでわからなかった
2	公民と経済 Honors Civics&Economics	経済の授業(需要と供給) *今日は講義式の授業。活気があって楽しかった。
3	化学 Honors Chemistry	蒸発と分子の引力 *実験。コンピューターで数値をはかっていたけど、日本の方が丁寧に用具を使っていると思った。

	科 目	内 容
4	陶芸 Ceramics 1	小さい器を2個作った *一人だとうまくできないので、Joieに手伝ってもらった。
5	日本語 Honors Japanese	プレゼンの準備 *言いたいことが伝わって良かった。ホストファミリーの子がとてもしっかりしていて、頼りきりだった。
6	ラテン語 Honors Latin 4	昨日に引き続き政治家の話 *名大附でたまにやる、アクティビティーみたいだと思った
7	英語 Honors English	日本文化について *日本の人口の少なさに驚いていた。日本=寿司なんだなと思った。

	科 目	内 容
1	日本語 Honors Japanese	外国人労働者（日本での）も問題について *日本人クラスの人と共にdiscussionして、具体的な問題を出した。日本人が気づかないことも多く、ためになった。
2	シドニーさんのマンツーマン授業	授業ではないので、1時間目に出た問題について内容をまとめたり、付け足したりしていた。要するに自習の時間となっている。
3	数学 Honors Math	Σ を使った数列 *まだやったことがないのでかなり難しい
4	英語 English	あるポエムを渡されて、自分で書く、というもの *大学英語レベルの授業だった。自分の言葉といっても表現方法を工夫しながら書けとあり、日本とは全く違うと思った。
5	地球科学 Earth Science	今、地球に起きている問題（環境）について *英語で受ける授業で初めて理解できるものだった。楽しかった。
6	生物	1時間、内蔵の働きや仕組みについて話された *一度やったことのある範囲だったが、英語でやると新鮮なものに感じた。
7	生物	消化・食中毒・薬の効果を題材としたビデオを1時間見た *理解できたので楽しいものとなった。

2) 研修を終えて

- 違う文化を持つ人々とディスカッションしてみると、視点が180°違っていて新しい意見や考えが得られた。

さらにそれをまとめて発表する。段階を踏んで研究を進めていくことによって自分たちの見解にまとまりが生まれ、より精度の高い発表内容となった。自分たちの拙い英語力では表現しきれない分をステイ先の子が補ってくれたり指導してくれたりするのは、ホームステイならではの良さだ。

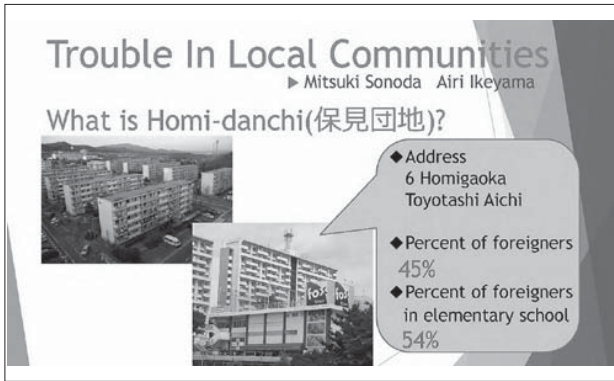
- 相手が話しかけてくれる分、僕も話しかける勇気がわいてきた。それでもアメリカの人たち同士の会話を聞き取るだけの能力と、そこに入っていくのはまだ難しかった。発表のパワーポイント作りをルークが手伝ってくれたときは、僕が考えた問題や意見に、ルークが「Why?」と何でも聞いてきて、すぐに答えられないこともたくさんあり、考えが浅いものを振り分けることができた。その「Why?」という部分を発表したら自然と伝わりやすくなっていった気がした。
- 今回はたくさん収穫があったと感じています。まずは偏見をなくせたということです。偏見を持っていたわけではないけど、少なからず必ずしも関係が良好でない国には、あまり良い印象を持っていません。しかしここに来て、たくさんの人種、宗教を持つ人と関わることができました。みんな仲良くしてくれ、質問してきてくれる子もいます。僕の語学力不足で高度な会話はできませんでしたが、それでも良い機会でした。
- 今回の研修に参加しただけで、将来にすごく大きな変化を与えたと思う。まだ全然英語は話せないけど、海外に再び行きたい。今回日本がすごく小さく感じた。日本がグローバル化?が進んでいるのは、ほんのわずかではないだろうか。もっと世界を見て感じたい。今回「世界」というものの広さを改めて感じた。
- 簡潔に言うと、最初の目標通り、人生の糧にすることができたと思います。今回のホームステイや研修を通して、英語を学びたい、と思う気持ちが強くなって、大学に入ったら留学しようという目標もできました。また、それだけでなく、アメリカの文化を体験したことで、日本文化のいいところと悪いところを両方知ることができました。「出る杭は打たれる」日本の文化がとても窮屈に感じられました。詰め込む日本の教育もある一種の完成形だとは思いましたが、アメリカのどンドン発表があったりする授業には負けると思いました。他にもたくさんのことを学んで書ききれません。こんな貴重な体験をすることができてとても良かったです。今回の経験をもとに今後の人生をよりよいものにしていきたいと思っています。

(6) 現地での課題研究発表資料

SGH 2015 North Carolina-Japan Exchange Program (March 12 ~March 21,2016)

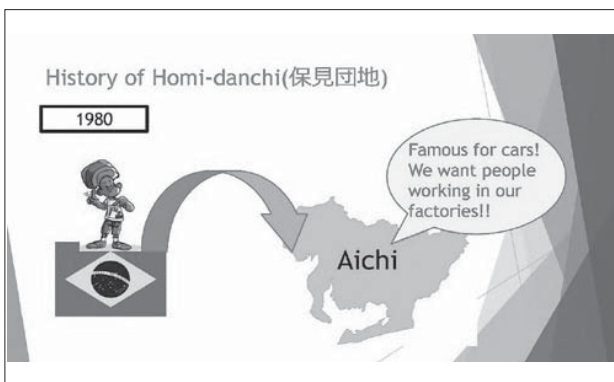
1: I think that if many foreigners come to Japan, we'll

have a lot of trouble. In fact, I experienced trouble in my local community because of a lot Brazilians coming. In my case, the Brazilians left Japan because of the Bankruptcy of the Lehman Brothers, but before that I was worried about the number of Brazilians increasing and the troubles that they caused. Thus, I'm interested in this topic, and we researched it.



2 : Japan is an island country and most Japanese people grow up there. So, it's somewhat disruptive when many foreigners come to our community since Japan is a close-knit country. The foreign culture sometimes clashes with Japanese culture.

3 : We thought about these things and researched Homi-danchi (a real apartment in Aichi prefecture, where foreigners live). We also researched problems and looked for ways to solve them. First, what is Homi-danchi? It's an apartment in Toyota city, Aichi. The percentage of foreigners in Homi-danchi is 45%, and at an elementary school near the apartment, 54% of students are foreigners. It is a remarkably large number for Japan.



4 : Next, I'll explain the history of Homi-danchi. Do you know what Toyota city is famous for? Toyota Motor (a famous car company) is based in Toyota city. Since they want a lot of people working in their factories, many Brazilians have come to Toyota city and live there.

5 : There are so many Brazilians living in the area that

it's become a 'little Brazil'.

6: Then we have a lot of problems. For instance, they are very loud because of BBQ, and soccer, and other things. Some foreigners like having BBQ, so they hold BBQs on their porch, but that is considered bad mannered in Japan. If someone has a BBQ next door, the smell will get on nearby clothes.

In my community, South American people get wildly excited by soccer, so during not only the day but also night, they make a lot of noise, because of the noise, Japanese people are disturbed. However, the Japanese people can't say to them. "Please be quieter." Because the Japanese are afraid of them. This fear stems from their height their big voice. Japanese feel more and more stressed. The most important problem about the issue trash disposal.

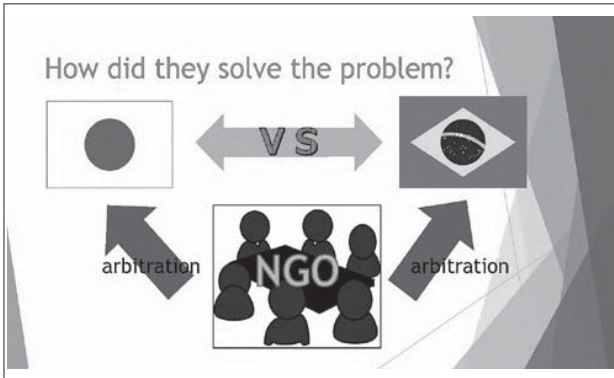


7: Japan has very strict rules about trash. Generally we separate trash into 6 types. Recently, in Japan, we now have to separate a plastic bottle's cap and bottle. 800 caps become a profit worth as much as a bottle of medicine. This is called "Eco-cap Undo" and it has spread in Japan. Japanese rules are very, very strict, but many foreigners don't know that, so Homi-danchi often become dirty. Japan is very tidy. They want to keep the area clean. For instance, though Japanese streets don't have trash cans, there isn't any trashes on the streets. Thus, the problems has made many Japanese people angry, and Japanese people are conflicted about foreigners.

8: Serious event occurred in 1999 in Homi-danchi. In one instance, foreigners threw cans or bottles at Japanese residents, so they stretched a net over the building to protect their house and family from the trash that was thrown. This was a very, very big fight, so police went into action to stop the riot. However, now Homi-danchi have become peaceful. Why? How did they solve the problem?



9: 1st, because of a third party organization like NGO. A third party organization who arbitrated between them.
 10: 2nd, the Japanese adopted an open mind. Before many Japanese hated foreigners but little by little, the Japanese began to understand foreigners. They made signs foreigners understand easily in order to communicate.



11 : When many foreigners come to our community and live in it, what can be done to accommodate and integrate them? When we came to America, we saw how everyone was friendly, and despite having different backgrounds, could become friends. We think Japanese people need this flexibility. Japanese people have to be open minded, try to understand different cultures, and try to live together. For example, making signs in other languages or teaching the rules of the local community to them.

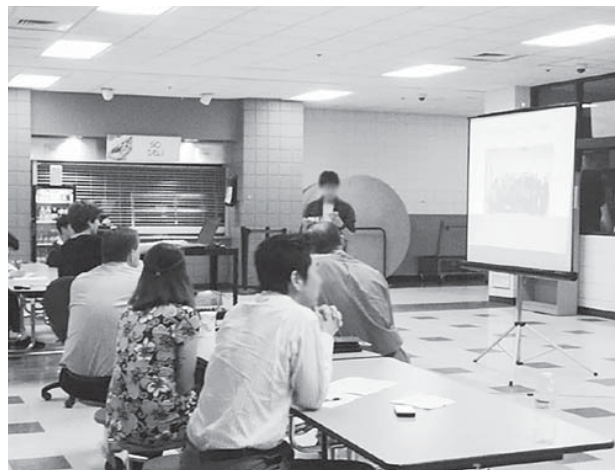


12: 1st, they should follow the rules. We don't want absolute obedience, but we want foreigners to follow the rules, especially those about trash disposal.
 2nd, they should try connecting with Japanese culture. For example, Brazilians speak to other Brazilians more easily than to Japanese, and often don't try to learn Japanese. But if they want to live in Japan, they should try to connect with Japanese society and try to learn our language.

(7) 現地での様子



East Chapel Hill High Schoolの生徒と協同で課題研究を行う様子



課題研究発表後、North Carolina State Universityの教員からフィードバックを受ける



キャンパスツアー Duke University



キャンパスツアー University of North Carolina

(文責 三小田博昭)